

2026年度 学修成果と授業科目の関連 第2学年次

2026要素(12)	2026細目(32)	レベルS	レベルA	レベルB	レベルC	レベルアップ選択科目	医学英語入門	臨床入門	生物統計学の基礎	個体の調節機能	中枢神経系の解剖	ホメオスタシス	生理学実習	生体と薬物	病理学総論	生体と寄生虫	生体と微生物	生体防御のしくみとその破綻	臨床病理の基礎	遺伝と遺伝子	基礎医学統合TBL	早期臨床体験実習Ⅱ	循環器系・腎尿路系の疾患	消化器病学	内分泌・代謝・免疫の疾患	在宅ケア（訪問看護）実習	チーム医療概論	地域医療特別演習Ⅱ
医師としての使命感を持って、保健衛生や社会福祉の向上に自律的に関与できる。	社会福祉	0	1	1	1																	c				a		b
	安心な社会と医療	0	1	0	1																	c				a		
兵庫県の多様な地域性を理解し、地域医療および予防医学に基づいた行動ができる。	地域医療(兵庫県の医療を含む)	0	0	2	1																	c				b		b
	予防医学と健康増進	0	0	1	1				c																	b		
	プライマリケア	0	0	1	0																					b		
修得した国際性と語学力を活用し、国際保健に積極的に関与できる。	語学力	0	0	2	1		b		b	c																		
	国際保健	0	0	0	2		c									c												
社会の仕組みと動静を理解し、支援扶助と社会の発展のために行動できる。	幅広い教養	0	1	0	3	c	c															c				a		
	社会と医療	0	0	1	2				c																	b	c	
	健康社会の推進	0	0	1	1				c																	b		
	医療の均てん化	0	0	2	0																					b		b
本学への帰属意識を持ち、医師の職責に基づいて行動できる。	職責の自覚(プロフェッショナリズム)	0	0	1	5		c		c		c											c				b	c	
	帰属意識	0	0	1	1																		c				b	
生命の尊厳と医療倫理を遵守し、患者や生活者の視点で権利を守ることができる。	生命倫理、患者の権利と生命の尊厳	0	1	0	2		c															c				a		
	人生の最終段階における医療	0	1	0	0																					a		
コミュニケーション能力を活用して信頼関係を築き、医療に携わる全ての人々と協調・協働することができる。	多様性の理解	0	1	0	3		c															c				a	c	
	チーム医療(多職種連携)	0	1	0	2																		c			a	c	
	コミュニケーション能力	0	0	1	3		c	c																		b	c	
患者や生活者の心身の苦痛について理解・共感し、医療に関わる問題に取り組むことができる。	ハンディキャップ	0	0	1	2																		c			b	c	
	患者の痛み	0	0	1	2																		c			b	c	
科学的探求心を持って生涯にわたり研鑽を続け、他者と共に学ぶ姿勢を維持できる。	科学的探究心	0	0	2	6				b	c		c		c	c	c		c					b					
	生涯学修	0	1	1	8		c			c	c	c	c		c	c		c					b			a		
	教育能力	0	0	2	8		c				c		c			c		c		c	c	b		b			c	c
総合的・科学的に課題を捉えて先端的な情報・科学技術を活用することで、医療および医学研究を最適化する能力がある。	臨床推論	0	0	2	1											c							b	b				
	問題解決能力、ICT活用	0	0	3	4		c		b							c							b	b			c	c
修得した医療の基本的な技能を活用でき、救急や危機管理を行う能力がある。	基本的な診察法	0	0	1	1											c							b					
	医療技術・検査	0	0	1	4								c				c		c	c			b					
	救命救急	0	0	1	0																		b					
	医療安全	0	1	1	1																		b			a	c	
良質で安全な医療の実践のために、医師としての基本的な知識がある。	人体の構造・機能	0	0	4	9					c	c	b	c	c	c			c	c		c		b	b	b		c	
	原因・病態	0	0	4	10					c	c	b	c		c	c	c	c	c	c	c	c	b	b	b			
	診断・治療	0	0	4	9								c	c	b	c	c	c	c	c	c	c	b	b	b			

2026年度 学修成果と授業科目の関連 第3学年次

2026要素(12)	2026細目(32)	レベルS	レベルA	レベルB	レベルC	医の倫理・研究倫理とプロフェッショナルリズム	医学英語	チーム医療演習	保健、医療、福祉と介護の制度	社会環境と健康	呼吸器・血液系の疾患	神経系の疾患	運動器系の疾患	産科・婦人科と乳房の疾患	臓器および後腹膜臓器疾患（泌尿器科疾患）	耳鼻・咽喉・口腔・頸部の疾患	成長と発達	精神の疾患	検査学	皮膚系の疾患	視覚系の疾患	頭蓋・頸・顔面および体表の疾患（形成外科学）	歯・頸・口腔系の疾患	画像診断と治療	死と法	総合診療学・老年医学	麻酔と緩和医療	感染性疾患	救急と災害	リハビリテーション医学	病理診断学	症候病態TBL（I）	プレクリニカル教育	地域医療特別演習Ⅲ	
医師としての使命感を持って、保健衛生や社会福祉の向上に自律的に関与できる。	社会福祉	0	4	7	1						a			a			b	a		b	c	b			b	b				b			a	b	
	安心な社会と医療	0	3	7	1									b			b	a		b	c	b				b			b	b			a	a	
	地域医療(兵庫県の医療を含む)	0	1	7	1				b								b	a			c	b			b	b				b				b	
兵庫県の多様な地域性を理解し、地域医療および予防医学に基づいた行動ができる。	予防医学と健康増進	1	2	8	3			c	c	s		b		a	b		b	a		b	c	b				b			b					b	
	プライマリケア	0	3	5	4			c	c		c	a					b	a		b	c	b					b						a	b	
修得した国際性と語学力を活用し、国際保健に積極的に関与できる。	語学力	0	1	9	2		b			b		a			b			b		b	c	b			c	b	b			b					
	国際保健	0	0	6	2				c		b				b				b			c	b						b						
社会の仕組みと動静を理解し、支援扶助と社会の発展のために行動できる。	幅広い教養	0	4	4	1					a	a						b	a				c	b					b						a	
	社会と医療	0	2	9	3			c	c		b			a	b		b	a				c	b			b	b		b					b	
	健康社会の推進	0	0	10	3					c	b				c	b		b	b			c	b				b	b	b		b			b	
	医療の均てん化	0	0	5	2			c									b	b				c	b				b							b	
本学への帰属意識を持ち、医師の職責に基づいて行動できる。	職責の自覚(プロフェッショナルリズム)	0	4	9	1	b					b	a		a	b		b	a				c	b			b	b	b					a	b	
	帰属意識	0	1	6	1							b				b		b	a				c	b					b					b	
生命の尊厳と医療倫理を遵守し、患者や生活者の視点で権利を守ることができる。	生命倫理、患者の権利と生命の尊厳	0	2	7	2	b					b				c	b		b	a			c	b				b	b						a	
	人生の最終段階における医療	0	2	7	2	b						b	c					b	a				c	b			b	b	b					a	
コミュニケーション能力を活用して信頼関係を築き、医療に携わる全ての人々と協調・協働することができる。	多様性の理解	0	3	5	4			c			b				c		b	a				c	b	b			c			b				a	a
	チーム医療(多職種連携)	0	2	7	5			c			b				b	b		b	a				c	b	c	b	c	c	b					a	
	コミュニケーション能力	0	1	7	4			c			b					c	b		b	a				c	b		b	c	b					b	
患者や生活者の心身の苦痛について理解・共感し、医療に関わる問題に取り組むことができる。	ハンディキャップ	0	0	8	2						b				b		b	b			b	c	b				c	b						b	
	患者の痛み	0	0	9	3	b		c			b				b			b	b		b	c	b				c	b						b	
科学的探求心を持って生涯にわたり研鑽を続け、他者と共に学ぶ姿勢を維持できる。	科学的探究心	0	1	8	2	b					b	a			b		b	b		b	c	b					c	b							
	生涯学修	0	1	10	2		b				b					b		b	b	b			c	b			b	c	b					a	
	教育能力	0	0	9	3	b		c			b				b			b	b	b			c	b			b	c	b						
総合的・科学的に課題を捉えて先端的な情報・科学技術を活用することで、医療および医学研究を最適化する能力がある。	臨床推論	0	1	12	3		c				b	a		b	b	b	b	b	b	b		c	b	c	b		b	b	b	b					
	問題解決能力、ICT活用	0	0	9	3		c	c			b				b		b	b	b	b			c	b				b	b	b					
修得した医療の基本的な技能を活用でき、救急や危機管理を行う能力がある。	基本的な診察法	0	5	9	1						a	a	b			b	b	a		b	c	b					b	b	b	a	b			a	
	医療技術・検査	0	2	13	1						b	a	b	b	b	b	b	b	a	b	b		c	b		b		b	b	b					
	救命救急	0	3	5	2							a			b		b	b	a			c	b				c	b						a	
	医療安全	0	4	10	2			c				b	a		b	b	b	b	a	b		c	b		b			b	b	b				a	a
良質で安全な医療の実践のために、医師としての基本的な知識がある。	人体の構造・機能	0	3	16	2			c			a	a	b	a	b	b	b	b	b	b	b	c	b	b	b	b	b	b	b	b		b	b		
	原因・病態	0	2	16	1						a	a	b	b	b	b	b	b	b	b	b	c	b	b	b	b	b	b	b	b		b			
	診断・治療	0	3	14	2							a	a	b	b	b	b	b	b	c	b	c	b	b	b		b	b	b			b		a	

2026年度 学修成果と授業科目の関連 第4学年次

2026要素(12)	2026細目(32)	レベルS	レベルA	レベルB	レベルC	医療における情報とデータサイエンス	保健、医療、福祉と介護の制度	社会環境と健康	画像診断と治療	死と法	総合診療学・老年医学	臨床腫瘍学総論	麻酔と緩和医療	医療入門	感染性疾患	救急と災害	医療安全管理と薬害	リハビリテーション医学	臨床解剖実習	症候病態TBL(Ⅱ)	英語で学ぶ臨床推論	病理診断学	プレクリニカル教育	地域医療特別演習Ⅳ
医師としての使命感を持って、保健衛生や社会福祉の向上に自律的に関与できる。	社会福祉	0	1	5	2	b	c			b	b			b				b					a	c
	安心な社会と医療	0	1	4	0						b			b		b		b					a	
兵庫県の多様な地域性を理解し、地域医療および予防医学に基づいた行動ができる。	地域医療(兵庫県の医療を含む)	0	0	4	1		b			b	b							b						c
	予防医学と健康増進	1	0	3	2		c	s			b			b	b									c
	プライマリケア	0	2	1	2		c				b										a		a	c
修得した国際性と語学力を活用し、国際保健に積極的に関与できる。	語学力	0	1	5	1	b		b		c	b		b					b			a			
	国際保健	0	0	2	1		c								b			b						
社会の仕組みと動静を理解し、支援扶助と社会の発展のために行動できる。	幅広い教養	0	2	3	1	b		a					b					b			a			c
	社会と医療	0	0	7	1	b	c			b	b			b	b		b	b						
	健康社会の推進	0	0	6	2	b		c			b		b		b		b	b						c
	医療の均てん化	0	0	1	1						b													c
本学への帰属意識を持ち、医師の職責に基づいて行動できる。	職責の自覚(プロフェSSIONアリズム)	0	2	8	0	b				b	b		b	b			a		b	b	b		a	
	帰属意識	0	0	4	1	b							b				b			b				c
生命の尊厳と医療倫理を遵守し、患者や生活者の視点で権利を守ることができる。	生命倫理、患者の権利と生命の尊厳	0	0	6	1	b					b		b	b			b				b			c
	人生の最終段階における医療	0	0	5	0					b	b		b	b			b							
コミュニケーション能力を活用して信頼関係を築き、医療に携わる全ての人々と協調・協働することができる。	多様性の理解	0	1	6	3						c			b		b	b	b	c	b	b		a	c
	チーム医療(多職種連携)	0	0	7	2				b		c	b	b		b		b	b		b				c
	コミュニケーション能力	0	1	7	2	b				b	c		b	b			b	b		b	a			c
患者や生活者の心身の苦痛について理解・共感し、医療に関わる問題に取り組むことができる。	ハンディキャップ	0	0	3	1						c		b				b	b						
	患者の痛み	0	1	3	2	a					c	b	b								b			c
科学的探究心を持って生涯にわたり研鑽を続け、他者と共に学ぶ姿勢を維持できる。	科学的探究心	0	1	2	2	a					c	c	b								b			
	生涯学修	0	0	6	2	b				b	c		b	b			b				b			c
	教育能力	0	1	5	1	b				b	c		b						b	b	a			
総合的・科学的に課題を捉えて先端的な情報・科学技術を活用することで、医療および医学研究を最適化する能力がある。	臨床推論	0	0	6	0				b		b		b		b					b	b			
	問題解決能力、ICT活用	0	0	6	0	b					b		b		b					b	b			
修得した医療の基本的な技能を活用でき、救急や危機管理を行う能力がある。	基本的な診察法	0	2	4	1						b		b		b	a		b					a	c
	医療技術・検査	0	0	4	1				b		b		b		b									c
	救命救急	0	1	1	2						c		b										a	c
	医療安全	0	2	3	1				b				b		b		a						a	c
良質で安全な医療の実践のために、医師としての基本的な知識がある。	人体の構造・機能	0	0	10	0				b	b	b	b	b		b			b	b	b		b		
	原因・病態	0	0	9	1				b	b	b	b	b		b					b	b	b		c
	診断・治療	0	2	7	1				b		b	b	b		b				b		a	b	a	c

2026年度 学修成果と授業科目の関連 第5学年次

2026要素(12)	2026細目(32)	レベルS	レベルA	レベルB	レベルC	臨床実習	選択型臨床実習
医師としての使命感を持って、保健衛生や社会福祉の向上に自律的に関与できる。	社会福祉	0	2	0	0	a	a
	安心な社会と医療	0	2	0	0	a	a
兵庫県の多様な地域性を理解し、地域医療および予防医学に基づいた行動ができる。	地域医療(兵庫県の医療を含む)	0	1	1	0	b	a
	予防医学と健康増進	0	2	0	0	a	a
	プライマリケア	0	2	0	0	a	a
修得した国際性と語学力を活用し、国際保健に積極的に関与できる。	語学力	0	1	1	0	b	a
	国際保健	0	1	1	0	b	a
社会の仕組みと動静を理解し、支援扶助と社会の発展のために行動できる。	幅広い教養	0	2	0	0	a	a
	社会と医療	0	2	0	0	a	a
	健康社会の推進	1	1	0	0	s	a
	医療の均てん化	1	1	0	0	s	a
本学への帰属意識を持ち、医師の職責に基づいて行動できる。	職責の自覚(プロフェッショナルリズム)	1	1	0	0	s	a
	帰属意識	0	1	1	0	b	a
生命の尊厳と医療倫理を遵守し、患者や生活者の視点で権利を守ることができる。	生命倫理、患者の権利と生命の尊厳	0	2	0	0	a	a
	人生の最終段階における医療	0	2	0	0	a	a
コミュニケーション能力を活用して信頼関係を築き、医療に携わる全ての人々と協調・協働することができる。	多様性の理解	0	2	0	0	a	a
	チーム医療(多職種連携)	0	2	0	0	a	a
	コミュニケーション能力	0	2	0	0	a	a
患者や生活者の心身の苦痛について理解・共感し、医療に関わる問題に取り組むことができる。	ハンディキャップ	1	1	0	0	s	a
	患者の痛み	0	2	0	0	a	a
科学的探求心を持って生涯にわたり研鑽を続け、他者と共に学ぶ姿勢を維持できる。	科学的探究心	0	1	1	0	b	a
	生涯学修	0	2	0	0	a	a
	教育能力	0	1	1	0	b	a
総合的・科学的に課題を捉えて先端的な情報・科学技術を活用することで、医療および医学研究を最適化する能力がある。	臨床推論	0	1	1	0	b	a
	問題解決能力、ICT活用	0	2	0	0	a	a
修得した医療の基本的な技能を活用でき、救急や危機管理を行う能力がある。	基本的な診察法	1	1	0	0	s	a
	医療技術・検査	0	2	0	0	a	a
	救命救急	0	1	1	0	b	a
	医療安全	0	1	1	0	b	a
良質で安全な医療の実践のために、医師としての基本的な知識がある。	人体の構造・機能	0	2	0	0	a	a
	原因・病態	0	2	0	0	a	a
	診断・治療	0	2	0	0	a	a

2026年度 学修成果と授業科目の関連 第6学年次

2026要素(12)	2026細目(32)	レベル s	レベル A	レベル B	レベル C	自由 選択 実習	臓器 別 特別 演習
医師としての使命感を持って、保健衛生や社会福祉の向上に自律的に関与できる。	社会福祉	0	1	0	0	a	
	安心な社会と医療	0	1	0	0	a	
兵庫県の多様な地域性を理解し、地域医療および予防医学に基づいた行動ができる。	地域医療(兵庫県の医療を含む)	0	1	0	0	a	
	予防医学と健康増進	0	1	0	0	a	
	プライマリケア	0	1	0	0	a	
修得した国際性と語学力を活用し、国際保健に積極的に関与できる。	語学力	0	1	0	0	a	
	国際保健	0	1	0	0	a	
社会の仕組みと動静を理解し、支援扶助と社会の発展のために行動できる。	幅広い教養	0	1	0	0	a	
	社会と医療	0	1	0	0	a	
	健康社会の推進	0	1	0	0	a	
	医療の均てん化	0	1	0	0	a	
本学への帰属意識を持ち、医師の職責に基づいて行動できる。	職責の自覚(プロフェッショナリズム)	0	1	0	0	a	
	帰属意識	0	1	0	0	a	
生命の尊厳と医療倫理を遵守し、患者や生活者の視点で権利を守ることができる。	生命倫理、患者の権利と生命の尊厳	0	1	0	0	a	
	人生の最終段階における医療	0	1	0	0	a	
コミュニケーション能力を活用して信頼関係を築き、医療に携わる全ての人々と協調・協働することができる。	多様性の理解	0	1	0	0	a	
	チーム医療(多職種連携)	0	1	0	0	a	
	コミュニケーション能力	0	1	0	0	a	
患者や生活者の心身の苦痛について理解・共感し、医療に関わる問題に取り組むことができる。	ハンディキャップ	0	1	0	0	a	
	患者の痛み	0	1	0	0	a	
科学的探求心を持って生涯にわたり研鑽を続け、他者と共に学ぶ姿勢を維持できる。	科学的探究心	0	1	0	0	a	
	生涯学修	0	1	0	0	a	
	教育能力	1	1	0	0	a	s
総合的・科学的に課題を捉えて先端的な情報・科学技術を活用することで、医療および医学研究を最適化する能力がある。	臨床推論	0	1	0	0	a	
	問題解決能力、ICT活用	0	1	0	0	a	
修得した医療の基本的な技能を活用でき、救急や危機管理を行う能力がある。	基本的な診察法	0	1	0	0	a	
	医療技術・検査	0	1	0	0	a	
	救命救急	0	1	0	0	a	
	医療安全	0	1	0	0	a	
良質で安全な医療の実践のために、医師としての基本的な知識がある。	人体の構造・機能	1	1	0	0	a	s
	原因・病態	1	1	0	0	a	s
	診断・治療	1	1	0	0	a	s